

声楽・合唱のレパートリーとして演奏される事の多い“日本の歌”を、吹奏楽のサウンドで楽しめるように編曲しました。曲順は、春夏秋冬の四季の変化に即して進むように工夫してあります。

曲中の「静かな湖畔」1曲だけは、作者不詳の外国曲です。コンサート演奏時に、聴衆の方々へ『外国曲当てクイズ』として提案するのも楽しい企画になると思います。

誰もが口ずさんだ曲の数々ですが、この編曲を演奏することで、さらに音楽の“和・輪・話”が広がることを期待しています。

編成の多様性について

この編曲では、中編成のバンドの実状を考慮して次のような工夫がしてあります。

・ソロパート（独奏楽器）について。

メロディーを担当するパートには、Solo or Soli の指示がたくさんあります。

これは、バンドのキャラクターや演奏者のキャラクターに合わせて役割を選択して演奏する事が可能です。

・中音域のパートについて。

SAX パートは Soprano・Alto・Tenor の3パートに分けて書かれていますが、どの楽器（どのパート）で演奏しても良いように工夫されています。曲想によっては、楽器を持ち替えて演奏することも出来ます。

Trumpet・Horn・Trombone は各々2パートのメンバーで十分にハーモニーが鳴らせるようになっています。

・中低音域のパートについて。

Bass Clarinet・Baritone Sax.・Euphonium・Tuba のパートは、曲想に合わせて各々のパートが助け合えるように書かれています。

・オプションパートについて。

Oboe・Bassoon・Marimba・Glockenspiel・Xylophone が加われば更にバンドの音色が豊かになるでしょう。

バンドの実状に合わせて、より豊かな音色を創り出し、すてきなノスタルジアを演奏してください。